

こども防災カード

★わたしは…

ふりがな	けつえきがた	うまれたひ
なまえ	型 (RH)	年 月 日生
じゅうしょ	TEL	()
メモ (※持病・アレルギーの有無・服用中の薬など)		

★わたしのほこしゃは…

なまえ(かんけい)	つとめさき	でんわばんごう
()		
()		

★ひなんばしょ

こうほ	どこに	でんわばんごう しょざいち
1		
2		

★かかりつけのびょういん

なまえ	でんわばんごう	しょざいち

※個人情報ですので、取り扱いには注意しましょう。

この面に
家族の写真やプリクラを貼っておくと
子どもが家族を探す時に役立ちます。



この【家族防災カード】は防災教育チャレンジプランの支援を受けています。

子どもの命を守る 学習記録 子どものなまえ _____

2歳のきみへ	3歳のきみへ
4歳のきみへ	5歳のきみへ
6歳のきみへ	7歳のきみへ

※このシートは、防災教育チャレンジプランの助成で作成しました。



子どもの命を守る 学習記録 使い方

子どもと、家族防災会議を行った後に、どんなことができるようになったか、記録し、
母子手帳や育児ノートに貼っておきましょう。

■乳幼児に教える防災学習のめやす (お子さんの発達に合わせて、無理なく教えましょう)

2歳児：ダンゴ虫のポーズ

(ぐらっと来た時に、頭と心臓を守るポーズを教える)

3歳児：ダンゴ虫のポーズ 上級編

(ダンゴ虫のポーズだけでなく、手近なもの（例えばクッションやバック）を
頭に当てて、頭や上半身を守るポーズを教える)

4歳児：家の周辺の危険物（自動販売機や電線、ブロック塀など）を教える。

5歳児：親とはぐれた時に自分の名前を言ったり、家族防災カードを出せるように教える。

6歳児：大きな揺れの時は、自動車が制御できなくなり、路上が危ないことを教える。

7歳児：避難場所や避難経路を教える。津波が危惧される地域では、強い揺れや長い揺れの
後は、高いところに逃げることを教えるなど、自宅を中心に起きたうる災害を予測
して、対処方法を教える。



子どもを守る防災教育チェックリスト

■乳幼児から始める防災学習のめやす (お子さんの発達に合わせて、無理なく教えましょう)

- タンゴ虫のポーズ（ぐらつと来た時に、頭と心臓を守るポーズ）を教える。
- 避難する時は、防災ベストを着用し、子ども自身が必要なものを自分で持ち出せる。
- タンゴ虫のポーズ 上級編（タンゴ虫のポーズだけでなく、手近なもの（例えばクッショングやバック）を頭に当てて、頭や上半身を守るポーズ）を教える。
- 家の周辺の危険物（自動販売機や電線、プロック塀など）を教える。
- 親とはぐれた時に自分の名前を言い、家族防災カードを出せるように教える。
- 避難する時は、「おかしも（おさない・かけない・しゃべらない・もどらない）」のルールを守る。
- 大きな揺れの時は、自動車が制御できなくなり、路上が危ないこと教える。
- 避難場所や避難経路を教える。津波が危惧される地域では、強い揺れや長い揺れの後は、高いところに逃げることを教えるなど、自宅を中心起こりうる災害を予測して、対処方法を教える。

※このチェックリストは、防災教育チャレンジプランの助成により作成しました。



子どもを守る防災教育チェックリスト 使い方

- お子さんができるようになつたら、チェックしましよう。
- このチェックリストは母子手帳や育児ノートに貼るなどして、時々見直しましよう。

防 災 知 識 ・ 災 害 時 の 基 本

- 自分の命は、自分で守る。
- 日頃から訓練していること、想定していたことが、いざという時に役立つ。
そのため、日頃から防災についての関心を持つ。
- 家族で、定期的・継続的に防災会議や訓練をするなど、防災学習を心掛ける。
- いざという時は、地域でたすけあう。「おたがいさま」の気持ちが大切。
普段から、地域の人との関わり合いを大切にする。



家族の情報

名前(血液型)	続柄	電話
	メールアドレス / 持病 / その他	
(型 Rh)		

困った時に頼りになる人

近所と遠方の人をそれぞれ書いておく。

名前	電話
	住所

避難場所

※避難経路はいくつかのパターンで確認しておきましょう。

第1候補	名称	電話
		所在地

第2候補	名称	電話
		所在地



避難経路・危険箇所マップ

